

地域における公益的な取組（令和5年度）

NO.	取組の名称	実施日	実施施設名	内 容
1	地域連続講座の開催	開催見合せ	伏見障害者デイサービスセンター	地域の訪問看護事業所と共催し、医療と福祉を考える場として地域の方を対象に定期的に（年に数回）開催しているが、新型コロナ対策のため開催を見合わせている（再開は未定）。
2	第19回地域ふれあい夏まつり	11月開催	洛南身体障害者福祉会館 洛南障害者授産所 ほか	地域の関係機関や事業所と連携して、洛南会館・授産所・南老人福祉センター等を会場に、地元の幼児・小中学生も参加するなど地域の方が多く集い交流する夏まつりを毎年開催しているが、本年度は新型コロナ対策のため規模を縮小し、11/3に秋まつりとして実施。
3	地域交流スペース「楽」を設置・運営	毎月第2・4火曜日開催	東野障害者福祉センター	毎月第2・4火曜日の午後2時～5時にセンター内のデイルームをフリースペースとして開放し地域住民が交流できる場を提供。同時に笑いヨガ教室を午後2時15分～午後3時まで開催。
4	「地域の方の居場所づくり」活動として、講習会や文化教室を開催	随時開催	洛南身体障害者福祉会館	地域の方の居場所づくり活動として、「大人のための頭塾」「マット運動&室内スポーツ」「バランスヨーガ教室」「健康麻雀教室」を定期的に開催。また、地域の方にも参加いただき「手話教室」「スマホ講座」「WEBデザイン体験」「ポーセリンアート教室」等を実施した。
5	ワンコインパソコン教室の開催	開催見合せ	洛南障害者授産所	施設利用者がパソコン講師となり、地域の方などが500円で受講できるパソコン教室を毎年開催しているが、新型コロナ対策のため上半期は開催を見合わせた。
6	地域向けコミュニティ誌の発行	令和6年3月発行	洛南障害者授産所	地域向けコミュニティ誌「あーる・じぇい」第21号を3月に8千部発行し地域に新聞折り込みで配布予定。
7	ボランティア受入れ	通年	洛南障害者授産所	就労チャレンジ体験終了者（高齢者）や、社会福祉実習を終えた学生等を作業ボランティアとして受け入れた。他者との交流の機会が少ない高齢者の方にとっては所内での活動を通してやりがいや生きがいに繋がった取り組みとなった。
8	地域交流スペース「ひだまり」の設置・運営	開催見合せ	ふしみ学園分室「ひだまり」	ふしみ学園分室「ひだまり」で各種教室やサークル活動を行うとともに、地域の方が集えるスペースとして開放し、接客は施設利用者が行っているが、新型コロナ対策のため開催を見合わせた（再開は未定）
9	福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」の運行	通年	福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」	主に京都障害者福祉センターを利用する利用者の方に対して、送迎車両を利用して低額な料金で輸送サービスを提供した。通院やお出掛けの足として多く障害のある方が利用されている。
10	「ふれあいギャラリー」「ボランティア講座」「フリースペース」等の開催	随時開催	山科身体障害者福祉会館	地域の方の絵画などの作品を常時展示する「ふれあい誰でもギャラリー」を通年開設し、地域との交流の場を設けた。新型コロナウイルスのため開催を見合わせていた「視覚障害者ボランティア入門講座」については、今年度4年ぶりに実施した。山科区社会福祉協議会の事業である「フリースペース」は今年度も山階学区民生委員と一緒に月2回開催している。会館利用者や地域の方が参加する「パステルアート講座」「フラダンス体験会」を開催した。会館利用者や職員による「メッセージボード」を掲出し、来館者等とのつながり創出に努めた。また、地域の方に車イスの無料貸出しを行っている（最長1か月）。

NO.	取組の名称	実施日	実施施設名	内 容
1 1	「ふらっと相談カフェ」の開催	毎月第三 月曜実施	だいが学園	だいが学園「Cafe &shop ふらっと」で、月に一度(第3月曜日午後1時～3時)、醍醐いきいき市民活動センターとのコラボ企画として、市民活動・地域活動に関する相談や福祉に関する悩みごと等を気軽に相談できる「ふらっと相談カフェ」を開催。 知り合いで障害のある方の生活をどうしたら良いか、自分の特技を活かして人の役に立ちたい、近所の高齢のご夫婦が二人では生活ができなくなっている等、様々な声を拾いあげ、関係機関につなぐことができた。
1 2	「だいが健康体操」	毎週水曜日 10時	だいが学園	だいが笑顔つながるプロジェクトで地域や関係機関の方と共に作ったオリジナル体操「だいが健康体操～悠久の歌～」を用いて毎週水曜日10時～実施(雨天を除く)。夏期期間(8～9月)はお休みしていたが、10月より再開。7月9日にはイズミヤ六地蔵店「イズミヤマルシェ」、12月10日パセオダイゴロー「いきいきフェスティバル」、3月3日には長尾天満宮「ひな祭り祝福ライブ」へ出場し、「だいが健康体操」を地域や利用者の方と共に披露し、普及啓発に努めた。
1 3	ボランティア受入れ	通 年	洛南障害者サービスセンター「あすなろ」	日中一緒に活動して頂くボランティア2名を受入れ。仕事を引退された後の日々が「あすなろ」を通じ充実した生活の一部となるような居場所を提供。 ボランティアを受入れ交流する事で当事業所の利用者、職員にとっても刺激となり、一緒に活動する事で新しい発見を見出す。【年間計79日受入れ】
1 4	ともにいきる地域をめざすプラットフォームづくり	1回目 5/17(水) 2回目 9/28(木) 3回目 11/17(金) 4回目 3/8(金)	支援センター「らくなん」	令和元年度から南区内のネットワークづくりの一環として南区社協、南区役所、洛南障害授産所、「らくなん」を事務局とし、ネットワーク会議を実施している。 令和5年度は、1回目5月17日に開催。今年度に取り組みでみたい事と情報交換を行った。 2回目は9月28日に開催した。2つのプロジェクトを作り、地域と関係機関の連携を深めていく事を今後検討していく事になった。(①南区事業所フォーラム開催(仮称)のプロジェクト、②総合支援学校と事業所との連携プロジェクト。) 3回目、4回目は、2つのプロジェクトに別れ、取り組み内容の具体化を検討。 ②の総合支援学校と事業所との連携プロジェクトについては、3月13日(水)に、総合支援学校の進路主事会にプロジェクトとして参加。今後の連携のあり方について意見交換を行った。
1 5	みなみな展示会	・毎月企画 会議 ・みなみな 展示会 3/11～23に 開催。	支援センター「らくなん」	「南区こころの健康を考える会」(ネットワーク事業)の一環として、「みなみな展示会」を開催した。福祉作業所の紹介や作品展示を行い、障がいに対する理解促進の一環として取り組みを行った。 (毎月行われる企画会議に参画した。)
1 6	「あそびの広場」の開催	上期、7月 30日実施 下半期は3 月17日に 実施予定	支援センター「らくとう」	地域の関係機関と連携し、障害のある子どもたちの長期休み期間中に、「障害のある子どもたちの余暇支援」と「保護者同士の交流」を目的に、「あそびの広場」を開催しているが、今年は夏にスポーツジムを借りて、納涼盆踊り大会を実施。3月17日に「みんなで楽しむ運動会と豚汁つくる」(室内施設を借りて)実施予定。

NO.	取組の名称	実施日	実施施設名	内 容
17	東山区こころのふれあい作品展	9月6～8日 開催	支援センター「らくとう」	東山区こころのふれあいネットワーク事業の一環として、「東山区こころのふれあい作品展」を開催。精神障害者の作品やその他福祉施設の作品を展示することを通して、精神・知的・身体障害に対する理解を深める機会となったり、区民相互の交流やふれあいの輪を広げる契機となるようお願い、開催してきた。昨年はホームページ上での開催であったが、今年は従来通りの実施となった。
18	小学校における車イス体験	2月29日 開催	伏見障害者授産所 (伏見障害者デイサービスセンター)	施設周辺の小学生に対して、障がい者理解・施設理解を深める目的のため伏見区社会福祉協議会と共催の下、各小学校に出向き車イスの操作方法などの講義を行っており、例年、利用者の方も講師として出向いている。新型コロナ対策のため開催を見合わせていたが、2月29日に開催した。
19	伏見社会福祉総合センター ふれあいまつり	開催見合せ	伏見障害者デイサービスセンター、伏見障害者授産所、京都市ふしみ学園	地域の皆様に親しまれる伏見社会福祉総合センターを目指し、センターの施設（伏見障害者デイサービスセンター・伏見障害者授産所・ふしみ学園・伏見老人デイサービスセンター・伏見老人福祉センター・伏見区社会福祉協議会）で実行委員会を組織し、地域と交流する「ふれあいまつり」を開催しているが、新型コロナ対策のため開催を見合わせている。
20	町内会のゴミ収集場所の提供と清掃	通年	グループホーム ふしみ寮	地域の一員として町内会に加入、ふしみ寮鍛冶屋町の前の道路を町内のゴミ収集場所として提供し、収集後に収集場所の清掃を行い、町内会に貢献している。
21	受刑者の清掃作業 (車両)の受入れ	通年	伏見障害者授産所	京都拘置所と社会貢献作業の協定書を締結し、受刑者の清掃作業(車両)の受入を行っている。
22	ボランティア受入れ	通年	京都市山科障害者授産所	地域の高齢者の方にボランティアとして自主製品の縫製加工を依頼した。月1回所内で活動してもらっている。また縫製加工をお願いし、仕上がった商品を授産所まで届けてもらい活動を継続してもらった。高齢者の方にとっては自宅や所内での活動を通してやりがいや生きがいに繋がった取り組みとなった。
23	毘沙門市 ～最澄さん～	令和5年 11月25～26日	京都市やましな学園	毘沙門堂門跡寺院の協力のもと、参拝者が多い春の桜の時期と秋の紅葉時期に合わせ、地域の福祉施設の授産製品と地元作家の手作り商品等の販売促進及び活動紹介の場づくりを目的に、実行委員として毘沙門市～最澄さん～を開催しました。 (今年は桜の開花時期が早かったため、春は令和5年3月25日～6日に開催)
24	ボランティア講座 ～知的障がいのある人とともに～	令和5年 10月28日	京都市やましな学園 京都市山科障害者 デイサービスセンター	知的障がいのある人とその家族が安心して暮らせる「まちづくり」のためには、周りのちょっとした支援が必要です。知的障がいのある人の暮らしや区内の施設・団体を知ってもらうことを目的に開催しています。本講座をきっかけに、地域で助け合える関係を受講いただいたみなさんから広めていただけるよう、山科区社会福祉協議会や圏域内の施設と共同で開催しています。

NO.	取組の名称	実施日	実施施設名	内 容
25	障害者週間イベント 『第27回 やったね！秋まつり』	令和5年 11月5日	山科身体障害者福祉 会館 山科障害者授産所 やましな学園 山科障害者デイサー ビスセンター 支援センター「らくと う」 だいが学園	京都市山科合同福祉センターでは、地域のぐるっとふれ愛まちフェスタと連動して「やったね！秋まつり」を開催していましたが、この間コロナ禍のため中止を余儀なくされていました。地域社会との繋がり・貢献を継続するべく、この度、4年ぶりに開催することとなりました。当日は、法人内の山科エリアを中心とした事業所が自主製品を取り揃えて出店する他、ワークショップや展示会、情報提供コーナーなどを企画し開催しています。
26	ふれあい“やましな” 2023 区民まつり	令和5年11 月23日	京都市やましな学 園 就労継続B型	ふれあい“やましな”実行委員会主催のもと、子供からお年寄りまで、多様な区民の方が相互に交流し、地域の振興と活性化の一助となることを目的に、区民みんなの手で開催される区民まつりに出店参加し、交流を深めました。
27	『たちばなこども食 堂』	令和5年12 月10日	京都市やましな学 園 就労継続B型	京都橘大学は、世代や立場を超えた地域の交流拠点をめざして、キャンパスで「たちばなこども食堂」を開催しています。当日は、大学の発達教育学部児童教育学科の学生団体『げんKids☆応援隊』が、地域のこどもたちに向けて実施する「クリスマス企画」も同時に開催し、当園も出店参加し、地域のこどもたちが楽しめる1日となりました。
28	中学校における車イ ス体験	10月開催	洛南障害者授産所	九条中学生に対して、障がい者理解を深める目的のため南区社会福祉協議会を通じて依頼があり、車いす使用の利用者が講師として体験談や車イスの操作方法などの講義を行った。